

MOre [もっと] Australia [オーストラリア]

モア

オーストラリア・レポート



先端技術が随所に

現在、オーストラリア準備銀行(RBA)は紙幣のさらなるセキュリティ向上のための「次世代紙幣プロジェクト」を進めています。その一環として、2016年9月から新しい5ドル札の流通が始まりました。

新しい5ドル札に付与された機能で注目すべきは、中央の透明な部分です。複数のセキュリティ機能を採用し、紙幣を傾けると豪州原産の鳥イースタン・スパインビル(キリハシミツスイ)が羽ばたくといった加工が施されています。ほかにも3D加工や反転加工などの工夫がなされています。

さらに、このプロジェクトの目的は偽造防止にとどまりません。たとえば新5ドル札には2つの小さな突起があります。これは視覚障害者に配慮した工夫で、バリアフリーを意識した取り組みです。

2017年は10ドル札が刷新

次世代紙幣プロジェクトの今後の取り組みとして、5ドル札に続き2017年後半には10ドル札、その後50ドル札と刷新が続く予定です。

各紙幣にはオーストラリアの花ワトルとオーストラリア原産の鳥が1種類ずつ描かれることになるようです。皆さんも、オーストラリアを訪れる機会があれば、紙幣の最先端技術と斬新なデザインにぜひ触れ親しんではいかがでしょうか。

今月のテーマ

豪州の次世代紙幣プロジェクト

12月号

ポリマー紙幣の先進国

オーストラリアの紙幣は5ドル、10ドル、20ドル、50ドル、100ドルの5種類が製造・発行され流通しています。これらの紙幣にはすべてポリマーという合成樹脂が使用されています。

オーストラリアは、1988年に世界に先駆けて10ドル札にポリマー紙幣を導入しました。ポリマー紙幣は、偽造対策と耐久性に優れていることが特徴です。ポリマー紙幣は2013年までにシンガポールや中国など世界29カ国で発行されています。

新しい5ドル紙幣



【3D加工】画像の淵を多色加工し、紙幣の傾きで淵色と星の向きが変化。



【画像加工】紙幣を傾けると鳥が羽ばたく。



【多色加工】鳥の色彩を鮮やかに施し偽造防止機能を強化。



【エンボス加工】突起の数で紙幣の種類を識別するバリアフリー機能。



【反転加工】紙幣を傾けると文字の向きが反転表示。偽造防止のための特殊技術。

出所: RBAホームページのデータをもとに大和住銀投信投資顧問作成

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会